日本の「知的財産」を育てよう。

知財戦略立案から権利行使にわたるワンストップサービス

権利取得から維持、運用に至るプロセスをカバーする独自のノウハウを駆使することで、お客様のニーズを正確に把握し、的確なサービスをタイムリーに提供。

先進国から中国、インド、ブラジルなどの新興国まで幅広くカバー

永年に亘って培った海外法律事務所約250ヶ所および調査機関約40ヶ所とのネットワーク、また、NGB海外訪問団派遣により独自に現地の最新情報を収集。

法律・語学・技術

法律・語学・技術に精通した
インテレクチュアル・アセット・マネジメントの
専門家集団

【主な事業内容】
- ●外国特許・意匠・商標の出願仲介
- ●知的財産権の技術調査・解析
- ●知的財産権関連の収集・資料販売
- ●外国知的財産権情報誌の編集
- ●知的財産権関連セミナーの開催
- ●外国知的財産権紛争の処理支援
- ●知的財産権の法務調査・解析
- ●特許情報データベースサービス
- ●特許年金管理
- ●新規化学物質の調査及び許認可申請仲介

NGB corporation
日本技術貿易株式会社
〒105-8408 東京都港区西新橋1-7-13 虎ノ門イーストビルディング
Tel.03-6203-9111（代） Fax.03-6203-9486
URL：www.ngb.co.jp
お問合せ：www.ngb.co.jp/inquiry/form.php
※資料請求はお気軽にお問い合わせ下さい。

確かな翻訳だけが、確かな情報となる。

中国語関連サービス

近年増加の一途をたどる中国特許に対応するため、調査、出願の各ステージでご利用いただけるサービスです。

特許・実案公報サマリー翻訳
＊低額 ＊定額 ＊定型
調査、SDI後の公報翻訳にご利用下さい。

クレーム翻訳チェックサービス
10年以上の実績をもとに、クレーム翻訳の「誤訳」「脱訳」「曖昧翻訳」などをチェックします。

クレーム翻訳解析サービス
逆翻訳を組み合わせることにより、正確に翻訳されているかをチェック、詳細なコメントと訂正案も提供します。見易さもバツグン!!

※上記3サービスは、韓国語、台湾語にも対応。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

Quality 高品質
Quantity 処理力
Quickness 迅速性（納期）

特許翻訳50年の実績

【特許翻訳サービス【和英、英和、他】】
●出願明細書・優先権証明書 ●特許公報
●申請書類・技術文献 ●訴訟関係書類など
出願実務経験豊富な技術翻訳者による
翻訳サービスを提供します。

【翻訳対象分野】
電気・電子・半導体・通信・
コンピュータ・インターネット・
機械・自動車・光学機器・
化学・医薬など全産業分野

【取扱言語】
日本語／英語／中国語
韓国語／ドイツ語
フランス語／スペイン語
ロシア語／その他

NBT corporation
日本ビジネス翻訳株式会社
〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-13 虎ノ門イーストビルディング
Tel.03-6203-9400（代） Fax.03-6203-9610
URL：www.nbtcorp.co.jp
E-mail：info@nbtcorp.co.jp
※資料請求はお気軽にお問い合わせ下さい。※翻訳者常時募集中

グローバル化時代の先行技術調査

海外特許出願が増加

持続的成長に不可欠

ランドンIP
日本事業統括部長　野崎　篤志

全世界特許出願件数は10年前の約1・4倍の規模に拡大しており、特に米国・中国における件数の伸びが著しい。企業が持続的な成長を維持するために、より積極的に海外マーケットへ進出することが見込まれ、事業保護の観点から諸外国における特許の出願・権利化活動が欠かせない。安定的な権利化にあたって必要となる先行技術調査は、グローバル展開に伴う海外出願を念頭に置き、出願当初から海外特許も含めて調査を行う必要がある。

米・中で拡大

世界知的所有権機構（WIPO）の統計によれば、全世界特許出願件数は年々増加の一途をたどっており、2011年には214万件に達した。214万件中136万件が自国への出願、78万件は自国以外への出願となっている。01年には全世界出願件数が150万件であったことを考えると、この10年間で約40%も出願が増加したことになる。この出願件数の増加は中国・米国出願の増加によるところが大きい。とりわけ中国における増加は顕著であり、この10年間で約10倍まで出願規模が拡大している。一方、日本出願は減少傾向をたどっており、01年の約45万件から11年には約35万件と10万件ほど出願規模が縮小している。

日本企業の自国への出願は確かに減少傾向にあるが、海外への特許出願を見ると01年の約12万件から、11年には約18万件に拡大している。日本企業としては、日本市場が少子高齢化を迎え国内総生産（GDP）成長率も飽和状態にあるため、持続的な成長を維持するために、欧米だけではなくBRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ共和国）などの新興国への海外展開が欠かせない。当然特許権を含めた知的財産権の出願・権利化および活用が重要となる。海外特許出願の増加は、このような動きを示唆しているものと言える。

研究費を有効に

特許は出願しただけでは権利としては成立せず、特許庁審査官による審査を経た上で権利として成立する。05年度の古い統計ではあるが、日本特許庁の特許行政年次報告書に興味深いデータがある。本統計によれば、05年には年約37万件の特許出願がなされ、そのうち約20万件が審査請求された。しかし、審査の結果、特許が付与されたのは約10万件であり、残る10万件は拒絶査定により権利化されなかった。さらにこの拒絶査定された10万件のうち半分の5万件は反論しないまま拒絶査定が確定したものであった。反論しないということは、特許庁審査官が引用した先行特許が自社出願内容に酷似しているため、そのまま権利化を諦めているということである。権利化できなかった特許には当然出願経費だけではなく研究開発費もかかっている。これらの費用が全て無駄になっているとは言えないが、事前に研究開発テーマ選定・特許出願前の先行技術調査を行っておけば、研究開発費・知財経費をより有効活用できると言える。

前述は日本特許出願に限った話であるが、特許法は各国独立しているため、海外出願を行う上でも重要なポイントを示唆している。例えば米国や中国で特許権利化を図りたい場合は各国特許庁へそれぞれ特許出願の上、審査を経なければならない。海外特許庁審査官は、日本語特許文献よりもむしろ英語や自国語特許文献を中心に先行技術調査を行う傾向にあるため、海外で権利化を図っていくためには積極的に海外特許文献も含めて調査を行う必要がある。

図はWIPOの統計データをベースに作成した主要5極の01年および11年主要技術分野別出願件数分布である。この10年間で5極における米国・中国出願の存在感が急激に増しており、とりわけ製薬・医療機器やコンピューター・デジタル通信といった分野では、日本は米国・中国の出願件数に大きく引き離されている。中国は国策として出願奨励策を取っているため、現時点で先行技術調査の対象文献として中国を必ず含めるべきとは言い切れない。しかし米国について、直近10年間の出願規模の拡大は、研究開発および特許出願を積極的に行っている企業、そしてその市場に参入する企業が数多くいることを示している以上、先行技術調査の対象文献として含めるべきであろう。また欧州や韓国においてもそれぞれの国・地域において優位性のある技術分野を加味した上で、日本特許出願前から調べておくことが望ましい。

効率化の動き

各国特許庁は増加する出願件数に対応するため、「特許審査ハイウェイ」による先行技術調査・審査結果の共有化を推進している。また欧州特許庁および米国特許商標局の間では、CPC（共同特許分類）導入により先行技術調査の効率化を図る動きが活発化している。特許出願人である企業も行政の動きに合わせて、自国での出願・権利化ありきの先行技術調査ではなく、グローバル化を念頭においた先行技術調査へと本格的に舵を切らなければならない時期に来ている。

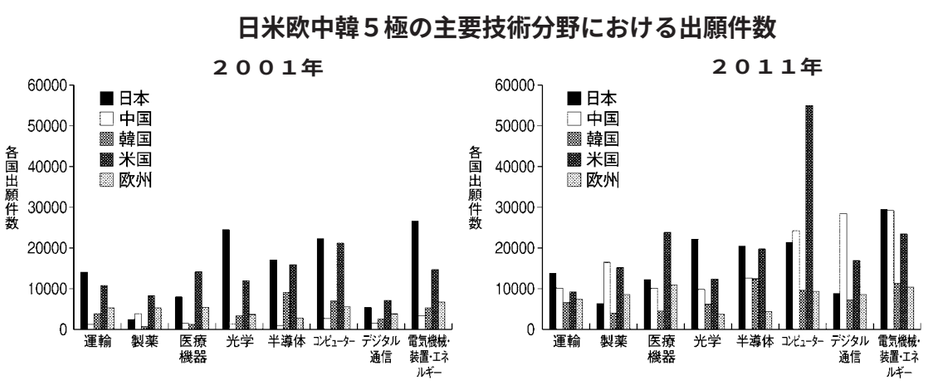


図　日米欧中韓5極の主要技術分野における2001年（左）・2011年（右）出願件数
（出所：WIPO統計データ）

4.18
発明の日特集

特許翻訳

■特許出願
■商標関連
■特許訴訟
■技術文献
■法廷書類

迅速な対応 ○ 的確な翻訳 ○ 機密の保持

知的財産に関する翻訳は権利取得の内容が的確であることが重要です。出願実務や技術内容に精通した専門翻訳者が法律的、技術的に確実な翻訳文書をご提供いたします。

特許　特許分野に精通した高度な翻訳！
各分野での精通した国内外の専門翻訳者を有しています。契約書類から係争関係、調査・報告書類に至るまで豊富な実績に基づき、幅広い業界で多岐にわたり高品質な翻訳を実現しています。

海外ビジネスを強力サポート！
38年間にわたる豊富な経験を駆使し国際基準で通用する文書を作成します。

高品質保証システム！
専門技術翻訳者、ブルーフリーダー、ネイティブチェッカー3者による翻訳文書のチェック体制を確立。

コストパフォーマンス！
地方の強みを生かしたローコストを実現。首都圏、関西圏の翻訳料金に比べ10～20%低い設定。

さまざまな言語に対応！
英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・オランダ語・スペイン語・ポルトガル語・中国語（簡体・繁体）etc

信頼と実績！
迅速な納期設定と厳しい情報漏洩防止システムで管理。

株式会社 福山産業翻訳センター
〒720-0815　広島県福山市野上町2-16-3
TEL：(084) 921-2888(代)　FAX：(084) 926-0065【受信専用】
e-mail：fukuyama@fitcen.co.jp
FITCEN　www.fitcen.co.jp

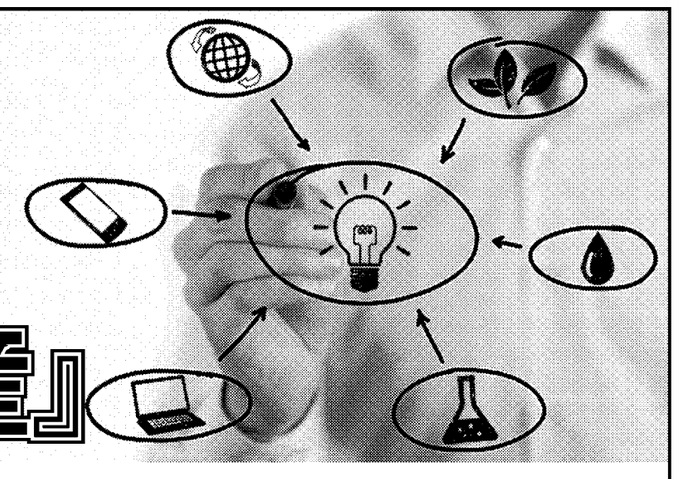
使える翻訳会社です！

BUSINESS SUPPORTER

的確な翻訳サービスは当たり前！
「特許分野」に精通したスタッフがプラスアルファをご提供します。

Fukuyama Industrial Translation Center

売ります！買います！『知的財産』



■ライセンス提供
◦特許を使って製品を開発したい
市場における優位性獲得のため、当社保有の特許を、戦略的なビジネス展開の原動力としてご活用ください。

■査定・買い取り
◦保有している特許を売りたい
特許が持つ資産価値を最大限に引き出すために、弊社の特許の査定・買い取り制度をご活用ください。

■特許のご相談
◦休眠特許をお金に換えたい
特許権にまつわる手続き・処理から有効活用およびリスクヘッジの方法まで。お気軽にご相談ください。

特許に関する事なら何でもお気軽にご相談ください。

Patent Communications
株式会社 パテントコミュニケーションズ
■〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目2番5号 京橋TDビル4F
Tel：03-3272-2511　Fax：03-3272-2541
0800-222-2511
受付時間/10：00～18：00　定休日/土・日・祝日
URL www.patent-communications.co.jp
MAIL info@patent-communications.co.jp
関連会社：株式会社 テックコーポレーション